

新医薬品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価 (円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考																				
1	219	内用薬	エンレスト粒状錠小児用 12.5mg	12.5mg1個	21.40	カプセル型容器30個 [カプセル型容器10個 (PTP) ×3]	ノバルティス ファーマ	サクビトリル バルサルタン ナトリウム水 和物	慢性心不全	通常、1歳以上の小児には、サクビトリル/バルサルタンとして下表のとおり体重に応じた開始用量を1日2回経口投与する。忍容性が認められる場合は、2~4週間の間隔で段階的に目標用量まで増量する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。 小児における用量表 (1回投与量) <table border="1"> <thead> <tr> <th>体重</th> <th>開始用量</th> <th>第1漸増用量</th> <th>第2漸増用量</th> <th>目標用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40kg未満</td> <td>0.8mg/kg</td> <td>1.6mg/kg</td> <td>2.3mg/kg</td> <td>3.1mg/kg</td> </tr> <tr> <td>40kg以上 50kg未満</td> <td>0.8mg/kg</td> <td>50mg</td> <td>100mg</td> <td>150mg</td> </tr> <tr> <td>50kg以上</td> <td>50mg</td> <td>100mg</td> <td>150mg</td> <td>200mg</td> </tr> </tbody> </table>	体重	開始用量	第1漸増用量	第2漸増用量	目標用量	40kg未満	0.8mg/kg	1.6mg/kg	2.3mg/kg	3.1mg/kg	40kg以上 50kg未満	0.8mg/kg	50mg	100mg	150mg	50kg以上	50mg	100mg	150mg	200mg	処方	R6.3.26	新効能医薬品、新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品 (再審査期間中のもの)
			体重	開始用量	第1漸増用量	第2漸増用量					目標用量																						
40kg未満	0.8mg/kg	1.6mg/kg	2.3mg/kg	3.1mg/kg																													
40kg以上 50kg未満	0.8mg/kg	50mg	100mg	150mg																													
50kg以上	50mg	100mg	150mg	200mg																													
エンレスト粒状錠小児用 31.25mg	31.25mg1個	45.10	カプセル型容器30個 [カプセル型容器10個 (PTP) ×3]																														
2	399	内用薬	オルミエント錠1mg	1mg1錠	1,356.80	28錠 [7錠 (PTP) ×4]	日本イーライ リリー	バリシチニブ	○既存治療で効果不十分な下記疾患 関節リウマチ (関節の構造的損傷の防止を含む) アトピー性皮膚炎 ^{注1)} 多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎 ○SARS-CoV-2による肺炎 (ただし、酸素吸入を要する患者に限る) ○円形脱毛症 (ただし、脱毛部位が広範囲に及ぶ難治の場合に限る) 注) 最適使用推進ガイドライン対象	〈関節リウマチ、アトピー性皮膚炎 (成人)、円形脱毛症) 通常、成人にはバリシチニブとして4mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて2mgに減量すること。 〈アトピー性皮膚炎 (小児)、多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎) 通常、2歳以上の患者には体重に応じバリシチニブとして以下の投与量を1日1回経口投与する。 ・30kg以上：通常、4mgとし、患者の状態に応じて2mgに減量すること。 ・30kg未満：通常、2mgとし、患者の状態に応じて1mgに減量すること。 〈SARS-CoV-2による肺炎) 通常、成人にはレムデシビルとの併用においてバリシチニブとして4mgを1日1回経口投与する。なお、総投与期間は14日間までとする。	劇、処方	R6.3.26	新効能医薬品、新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品 (再審査期間中のもの)																				
3	399	内用薬	レズロック錠200mg	200mg1錠	30,525.90	バラ包装 (ポトル入、乾燥剤入) 30錠	Meiji Seika ファルマ	ベルモスジル メシル酸塩	造血幹細胞移植後の慢性移植片対宿主病 (ステロイド剤の投与で効果不十分な場合)	通常、成人及び12歳以上の小児にはベルモスジルとして200mgを1日1回食後に経口投与する。併用薬に応じて、効果不十分な場合に1回200mg1日2回投与に増量できる。	劇、処方	R6.3.26	新有効成分																				
4	429	内用薬	トルカブ錠160mg	160mg1錠	9,263.50	32錠 [8錠(PTP)×4]	アストラゼネ カ	カビパセルチ ブ	内分泌療法後に増悪したPIK3CA、AKT1又はPTEN遺伝子変異を有するホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌	フルベストラントとの併用において、通常、成人にはカビパセルチブとして1回400mgを1日2回、4日間連続して経口投与し、その後3日間休薬する。これを1サイクルとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。	劇、処方	R6.3.26	新有効成分																				
			トルカブ錠200mg	200mg1錠	11,244.30	32錠 [8錠(PTP)×4]																											
5	229	注射薬	ファセンラ皮下注10mgシリンジ	10mg0.5mL1筒	134,121	0.5mL [1キット (注射針 (29G) 付きプレフィルドシリンジ×1)]	アストラゼネ カ	ベンラリズマ ブ (遺伝子組 換え)	気管支喘息 (既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治性の患者に限る)	通常、体重35kg未満の6歳以上12歳未満の小児にはベンラリズマブ (遺伝子組換え) として1回10mgを、初回、4週後、8週後に皮下に注射し、以降、8週間隔で皮下に注射する。	劇、処方、生物	R6.3.26	新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品 (再審査期間中のもの)																				

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
6	339	注射薬	アジンマ静注用1500	1500国際単位1瓶 (溶解液付)	1,212,026	アジンマ静注用1500 [1バイアル] 添付溶解液(日局 注射用水5mL) [1バイアル] 専用溶解器(薬液用両刃針) [1個]	武田薬品工業	アバダムターゼ アルファ (遺伝子組換え) / シナキサダムターゼ アルファ (遺伝子組換え)	先天性血栓性血小板減少性紫斑病	本剤を添付の溶解液5mLで溶解し、2~4mL/分の速度で緩徐に静脈内に注射する。 定期的に投与する場合、通常、成人及び12歳以上の小児には、1回40国際単位/kgを隔週投与するが、患者の状態に応じて1回40国際単位/kgを週1回投与することができる。 急性増悪時に投与する場合、通常、成人及び12歳以上の小児には、1日目に1回40国際単位/kg、2日目に1回20国際単位/kg、3日目を以降は1日1回15国際単位/kgを投与する。	処方、生物	R6.3.26	新有効成分
7	429	注射薬	エルレフィオ皮下注44mg	44mg1.1mL1瓶	558,501	1.1mL [1バイアル]	ファイザー	エルラナタマブ (遺伝子組換え)	再発又は難治性の多発性骨髄腫(標準的な治療が困難な場合に限る)	通常、成人にはエルラナタマブ(遺伝子組換え)として、1日目に12mg、4日目に32mgを1回皮下投与する。8日目以降は1回76mgを1週間間隔で皮下投与する。なお、24週間以上投与し、奏効が認められている場合は、投与間隔を2週間間隔とすること。	劇、処方、生物	R6.3.26	新有効成分
			エルレフィオ皮下注76mg	76mg1.9mL1瓶	957,222	1.9mL [1バイアル]							
8	429	注射薬	ピキセオス配合静注用	(144mg) 1瓶	877,877	1バイアル	日本新薬	ダウノルピシン塩酸塩・シタラピン(リボソーム製剤)	高リスク急性骨髄性白血病	(1) 寛解導入療法 通常、寛解導入療法として、本剤100ユニット(ダウノルピシン/シタラピンとして44mg/100mg) /m ² (体表面積)を1日1回、90分かけて、最大2サイクルまで投与する。 1サイクル目として本剤を1、3、5日目に点滴静注する。1サイクル目に寛解に到達しなかった患者で、本剤への忍容性が良好な場合、1サイクル目の投与開始から2~5週間後に、2サイクル目として本剤を1、3日目に点滴静注する。 (2) 地固め療法 通常、地固め療法として、本剤65ユニット(ダウノルピシン/シタラピンとして29mg/65mg) /m ² (体表面積)を1日1回、90分かけて、最大2サイクルまで投与する。 最後の寛解導入療法開始から5~8週間後に、1サイクル目として本剤を1、3日目に点滴静注する。1サイクル目の投与開始後に病態が進行していない患者で、本剤への忍容性が良好な場合、1サイクル目の地固め療法開始から5~8週間後に、2サイクル目として本剤を1、3日目に点滴静注する。 本剤の用量単位である1ユニットには、ダウノルピシン0.44mg及びシタラピン1mgが含まれる。	劇、処方	R6.3.26	新医療用配合剤
9	429	注射薬	ピロイ点滴静注用100mg	100mg1瓶	54,502	1バイアル	アステラス製薬	ゾルベツキシマブ(遺伝子組換え)	CLDN18.2陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌	他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはゾルベツキシマブ(遺伝子組換え)として、初回は800mg/m ² (体表面積)を、2回目以降は600mg/m ² (体表面積)を3週間間隔又は400mg/m ² (体表面積)を2週間間隔で2時間以上かけて点滴静注する。	劇、処方、生物	R6.3.26	新有効成分
10	430	注射薬	アキュミン静注	185MBq1瓶	344,867	185MBq(2mL) [1バイアル]	日本メジフィジックス	フルシクロピン(¹⁸ F)	初発の悪性神経膠腫が疑われる患者における腫瘍の可視化 ただし、磁気共鳴コンピューター断層撮影検査による腫瘍摘出計画時における腫瘍摘出範囲の決定の補助に用いる。	通常、本剤1バイアル(87~270MBq)を静脈内投与し、投与10~50分後にポジトロン断層撮影法により撮像を開始する。	処方	R3.3.23	新有効成分
11	430	注射薬	アミヴィッド静注	370MBq1瓶	184,203	370MBq(1~9mL) [1バイアル]	PDRファーマ	フルロベタビル(¹⁸ F)	アルツハイマー病による軽度認知障害又は認知症が疑われる患者の脳内アミロイドベータブラークの可視化	フルロベタビル(¹⁸ F)として370MBqを静脈内投与し、投与30分後から50分後までに撮像を開始する。撮像時間は10分間とする。	処方	H28.12.19	新有効成分
12	430	注射薬	ピザミル静注	185MBq1瓶	196,481	185MBq(2mL) [1バイアル]	日本メジフィジックス	フルテマタモル(¹⁸ F)	アルツハイマー病による軽度認知障害又は認知症が疑われる患者の脳内アミロイドベータブラークの可視化	通常、本剤1バイアル(120~370MBq)を静脈内投与し、投与後60~120分に撮像を開始する。	処方	H29.9.27	新有効成分

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価 (円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
13	449	注射薬	ミチーカ皮下注用30mg/バイアル	30mg1瓶	67,112	ハイアル：30mg×1	マルホ	ネモリズマブ (遺伝子組換え)	既存治療で効果不十分な下記疾患 ○アトピー性皮膚炎に伴うそう痒症 ○結節性痒疹 注) 最適使用推進ガイドライン対象	〈アトピー性皮膚炎に伴うそう痒〉 通常、6歳以上13歳未満の小児にはネモリズマブ（遺伝子組換え）として1回30mgを4週間の間隔で皮下投与する。 〈結節性痒疹〉 通常、成人及び13歳以上の小児にはネモリズマブ（遺伝子組換え）として初回に60mgを皮下投与し、以降1回30mgを4週間の間隔で皮下投与する。	劇、処方、生物	R6.3.26	新効能医薬品、新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品（再審査期間中のもの）
14	625	注射薬	ペイフォータス筋注50mgシリンジ	50mg0.5mL1筒	459,147	0.5mL [1 プレフィルドシリンジ]	アストラゼネカ	ニルセピマブ (遺伝子組換え)	1. 生後初回又は2回目のRSウイルス (Respiratory Syncytial Virus) 感染流行期の重篤なRSウイルス感染症のリスクを有する新生児、乳児及び幼児における、RSウイルス感染による下気道疾患の発症抑制 2. 生後初回のRSウイルス感染流行期の1. 以外のすべての新生児及び乳児におけるRSウイルス感染による下気道疾患の予防	生後初回のRSウイルス感染流行期には、通常、体重5kg未満の新生児及び乳児は50mg、体重5kg以上の新生児及び乳児は100mgを1回、筋肉内注射する。 生後2回目のRSウイルス感染流行期には、通常、200mgを1回、筋肉内注射する。	処方、生物	R6.3.26	新有効成分
			ペイフォータス筋注100mgシリンジ	100mg1mL1筒	906,302	1.0mL [1 プレフィルドシリンジ]							
15	634	注射薬	オビザー静注用500	500単位1瓶 (溶解液付)	268,509	オビザー静注用500：500単位 [1バイアル] 添付溶解液 (日本薬局方注射用水 1mL) [1シリンジ] オビザー溶解器 [1個]	武田薬品工業	スノクトコグアルファ (遺伝子組換え)	後天性血友病A患者における出血抑制	本剤を添付の日本薬局方注射用水1mLで溶解し、緩徐に静脈内に注射する。18歳以上の患者には、初回投与量は体重1kg当たり200単位とする。その後は、出血の程度に応じて、血液凝固第Ⅷ因子活性や患者の状態を確認しながら投与量と投与頻度を調節する。	処方、生物	R6.3.26	新有効成分
16	639	注射薬	ピアスカイ注340mg	340mg2mL1瓶	1,978,062	2mL×1バイアル	中外製薬	クロバリマブ (遺伝子組換え)	発作性夜間ヘモグロビン尿症	通常、クロバリマブ（遺伝子組換え）として、患者の体重を考慮し、1日目に1回1,000又は1,500mgを点滴静注し、2、8、15及び22日目に1回340mg、29日目以降は4週ごとに1回680又は1,020mgを皮下投与する。	劇、処方、生物	R6.3.26	新有効成分
17	131	外用薬	シスタドロップス点眼液 0.38%	0.38%5mL1瓶	256,095.50	5 mL×1 本 (アプリゲータ 1 個同梱)	ヴィアトリス製薬	システアミン塩酸塩	システニン症における角膜システニン結晶の減少	通常、1回1滴、1日4回点眼する。なお、症状により適宜回数減じる。	処方	R6.3.26	新有効成分
18	229	外用薬	サルグラミン吸入用250µg	250µg1瓶	42,359.10	1日分[凍結乾燥品1バイアル、4mL計量カップ1個、薬液採取用スポイト1本、バイアル保護シール1枚]	ノーベルファーマ	サルグラモスタム (遺伝子組換え)	自己免疫性肺胞蛋白症	通常、成人にはサルグラモスタム（遺伝子組換え）として125µgを1日2回、ネプライザーを用いて7日間連日吸入投与し、7日間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。	処方、生物	R6.3.26	新有効成分

・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。

・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。

・承認段階の情報につきましては、適宜、日本薬剤師会雑誌の日薬医薬品情報に掲載しておりますのでご参照下さい。

・承認に関する情報は医薬品医療機器総合機構ホームページの新薬の承認に関する情報もご参照下さい。

・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。

・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。